

事例 研究

演習

個別支援と地域支援の展開

- ✓ 導入講義と「個別支援」としての事例検討
- ✓ 事例の全体像の理解や支援方法を探る
- ✓ 「地域支援の展開」としての事例検討
(地域の変化やその可能性を探る)
- ✓ 全体共有（グループ発表・学び合いの場）

2026

日程

12.25 金

時間 13:30～16:30

会場

大阪社会福祉指導センター
4階 研修室1

対象

概ね2年以上の相談業務経験のある、
地域福祉コーディネーター（現任者）など
いきいきネット相談支援センターのCSW、
社会福祉協議会のCSW、地域包括支援センター
の相談員、市町村行政職員、社会福祉施設の
総合生活相談に従事する相談員など

定員

最大 30名（※先着順）

費用

3,000円（税込）

締切

11月6日（金）まで

- 「個別支援」と「地域支援」に関する事例研究（演習）
を通して、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）
として自ら考え、実践につなげる力を養うことを目的に
した研修を開催します。
- 最新のCSW実践事例の中から代表的な事例を取りあげ、
演習を通じて、参加者同士で支援プロセスの共有や、
地域を俯瞰的に捉える方法を育み、日々の業務に活かせ
る知識と地域支援に関する幅広い視点を身につけること
を狙いにしています。

参加者プレゼント



参加者の事前課題を集約した
「個別支援と地域支援の展開」事例集

講師



川島 ゆり子 氏

日本福祉大学 社会福祉学部 教授

専門 地域福祉、コミュニティソーシャルワーク、
ボランティア活動、地域福祉計画
関西学院大学 博士課程修了 社会福祉学博士
日本地域福祉学会 副会長
日本福祉教育・ボランティア学習学会 副会長

お申込み・
お問い合わせ

大阪府社会福祉協議会
研修グループ
(担当：青木、辻)
TEL：06-6762-9035

大阪福祉人材支援センター

申込みフォーム
はコチラ



受講予定者の皆様へ

本研修では、参加されるに際して、事前課題の提出が必要です。
また、安心してご受講いただける環境を整えるために、下記の事項にご協力ください。

1. 事前課題のご提出（重要）

受講申し込みをされた方は、期日までに「事前課題」をご提出ください。
本研修では、事前課題の中から、講師が「代表事例」をお選びになり、研修当日に活用いたします。
ご担当された事例を、受講者皆さんで検討していただく貴重な機会となりますので、趣旨をご理解のうえ、ご協力いただける方のみ、お申し込みください。
決定通知を送付する際に、詳細をご案内いたします。

■提出締切（予定）：令和8年11月30日（月） ※期日厳守

（皆さんの事前課題を集約した「個別支援と地域支援の展開 事例集」に仕上げて、贈呈いたします）

（事例のイメージ）

大阪府社協 業務研究会報告書「社協にしか果たせない地域福祉の推進の機能」のP.21～P.38をご参照ください。

https://www.osakafusyakyo.or.jp/chiiki-g/pdf/h30_002.pdf

2. 安心できる受講環境のために

①咳エチケットの実施や手洗い、うがい、手指消毒にご協力をお願いします。
会場入口に、消毒液をご用意していますので、ご活用ください。

②服装について

会場では換気のため、適宜、窓の開閉を行います。室温が変化することがありますので、暑さ・寒さを調整できるよう、重ね着などの脱ぎ着しやすい服装でお越しください。

なお、地震・台風等自然災害などにより、やむを得ず研修を中止または延期させていただきます場合がございます。中止または延期の場合は、速やかに、大阪福祉人材支援センターのホームページあるいはメールにてご連絡させていただきます。

令和7年度の実績に注目！

受講者 理解度 **4.45**、活用度 **4.53**

地域福祉に関心のある方におすすめの研修！

最大5.00

研修を受講された方にお聞きました！

令和7年度受講後アンケートより （一部抜粋）

- ・普段、地域への支援を主にしており、今回は実際に個別支援からの検討ということで、勉強になった。
- ・個別支援から地域支援への具体的な方法（考え方）を学べた。
- ・地域支援を考えるうえで、個別支援の「普遍化」の視点が大切だということを理解できた。
- ・「事例検討は、気づきの共有の機会」、「多角的な視点の蓄積」、自分がしている支援を、自分だけのもので終わらせないことが重要だと感じた。
- ・簡単ではなく複雑な内容だが、グループで解決していくことを実感できた。
- ・ソーシャルワークとして、個別ケースだけをアセスメントするのではなく、地域までをアセスメントしていこうと思った。
- ・今回の研究のやり方、プランニングではグループとも視点や内容が異なり、いろんな考え方があるのが分かった。
- ・先生のお話がとても分かりやすかった。
- ・グループワークでみなさんから新しい視点をいただきました。

目指せ！

CSWマイスターへの道

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）マイスターとは…

制度の狭間や複数の福祉課題など、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組むCSWのうち、より高度な知識・技術・経験を有した府知事から認定される専門職です。大阪府内の各地域において、CSWとしての意識向上と活動の活性化を図り、地域福祉の一層の向上に寄与することが期待されています。

1

■ 7月～8月に開催（研修グループ主催） ■ 地域福祉コーディネーター 基礎研修

【修了要件】 5日間のプログラムを**すべて**受講すること

本研修

2

■ 10月～2月に開催（研修グループ主催） ■ 地域福祉コーディネーター スキルアップ研修（専門研修） ※テーマ別2回、応用編2回 計4回

【受講要件】 **概ね2年以上**の相談業務の経験のある

地域福祉コーディネーター、

福祉現場で相談職として従事する福祉専門職 等

【修了要件】 計4回研修のうち **3研修**（9時間）以上を受講すること

★府社協会長名の修了証書発行

3

■ 10月～11月頃開催（社会福祉施設経営者部会主催） ■ CSWマイスター研修 ※2日間 計8時間／内容：専門的講義＋専門的演習

【受講要件】 ①CSWとして3年以上の実務経験があり、法人理事長の推薦のある者

②大阪福祉人材支援センターが主催する**スキルアップ専門研修**の修了者

【修了要件】 2日間のプログラムをすべて受講すること

★大阪府知事CSWマイスター認定証の交付